（様式第12号）

活　動　計　画　書

平成28年○月○日策定

○○活動組織

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

１．組織名　活動組織の名称を記載

霞の森保全の会

２．所在地

北海道○○市霞１－２－１

３．地区の概要、取組の背景等　対象地区の概要、取組に至る背景等を記載

○○市霞地区は・・により、集落で先祖代々守り続けている霞の森が荒廃してきた。このため、地域住民（○人）とNPO法人○が「霞の森保全の会」を設立し、霞の森を整備し、定期的に炭焼き体験や霞の森生き物観察会を開催し地域住民と都市住民の絆の森とし、地域の活性化を進める。

４．取組概要

○地区にある○を中心とした広葉樹林について霞の森保全の会メンバーによる雑草木の刈払い、集積、処理場までの運搬を実施。整備後に○を植林、遊歩道の整備（一部急峻フィールドについては作業委託を実施。0.5ha）。また、一部のフィールドにおける孟宗竹の除去を実施し、チッパーによる処理後遊歩道へ敷設する。また、整備後に、対象林地内に炭焼き小屋を整備し、フィールド内の0.5haから炭及び薪ストーブ用の原木の間伐を行い、地域内外の住民への炭焼き体験や霞の森生き物観察会を定期的に実施。

５．構成員の概要

※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

別紙参加同意書のとおり

６．地元の自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地域の活性化への寄与

地元自治会からの協力も得て、地元の要望である遊歩道の整備や都市住民も含めた炭焼き体験、生き物観察会を実施する。

こうした活動により地域住民と都市住民の交流だけでなく、地域住民同士の絆を深める活動とし、地域全体の活性化を図る。

７．年度別スケジュール　3カ年の取組について、取組概要を記載

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組概要 | 28年度 | | 29年度 | | 30年度 | |
| １．活動推進費 | 林況調査、活動計画作成 | |  | |  | |
| ２．実践活動 |  | |  | |  | |
| A-1地域環境保全タイプ  （里山林保全） | 雑草木の刈払い、集積、処理 | 3ha | 雑草木の刈払い、集積、処理 | 3ha | 雑草木の刈払い、集積、処理 | 3ha |
| A-2地域環境保全タイプ  （侵入竹除去、竹林整備） |  | ha |  | ha |  | ha |
| B 森林資源利用タイプ | 炭焼き体験及び薪原木の伐採 | 0.5ha | 炭焼き体験及び薪原木の伐採 | 0.5ha | 炭焼き体験及び薪原木の伐採 | 0.5ha |
| C　森林機能強化タイプ | 作業道開設 | 100m | 作業道開設 | 200m |  | m |
|  | ha |  | ha |  | ha |
| D 教育・研修活動タイプ | 霞の森生き物観察会２回(30人規模) | 2回 | 炭焼き体験１回(10人規模)、霞の森生き物観察会5回(30人規模) | 6回 | 炭焼き体験2回(10人規模)、霞の森生き物観察会5回(30人規模) | 7回 |
| ２－１．間伐等（除伐・枝打ちを含む）実施面積 |  | 1.0ha |  | 1.0ha |  | 1.0ha |
| ２－２．活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていなかったと考えられる森林を整備する面積 |  | 1.2ha |  | 1.2ha |  | 1.2ha |
| ３．資機材・施設の整備 |  | |  | |  | |
| （1/2以内） | 刈払い機５台 | |  | |  | |
| （1/3以内） | 薪割り機１台 | | 炭焼き小屋整備 | | 薪ストーブ１台設置 | |

※１　延長には森林調査・見回りを除く。

※２　２のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※３　２－２については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する森林の整備を実施している場合はその森林の面積を除外し、その年度に新たに該当する森林の整備を実施する面積を記載する。

※４　資機材・施設の整備の1/3以内は、林内作業車、薪割機、薪ストーブ、炭焼き小屋が対象

８．森林施業技術の向上の取組及び安全対策（技術講習の受講、安全装備、傷害保険加入等）

林地内での活動に関する安全確保の取組を記載

刈払い機、チェーンソー等動力機械の使用に関しては、初めて扱う者には事前講習を実施。作業開始前には、機器の安全点検を行い、作業中においては、一定の距離以内には近づかないよう注意を怠らない。また、林地内での作業やイベントを実施する場合には、稼働場所の安全確認等を行い事故の未然防止に努めるとともに、活動者等に対して傷害保険の加入など、安全性の確保を図る。

９．４年目以降の活動（森林管理）計画　4年目以降の取組の方向性について記載

４年目以降も霞の森の保全管理を継続して実施。また、近隣の都市住民からも幅広く維持活動に協力していただける活動も継続し、地域の里山を維持・発展させる予定。

１０．計画図（協定の対象としている区域の図面）

取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の１以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画及び森林施業計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

取組の実施箇所の森林計画図を添付すること（縮尺5,000分の１以上の図面も用いて、タイプ別活動エリアが明記されているもの)。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる図面を使う。

１１．仕入れに係る消費税相当額について

交付金の申請に当たり、消費税額を抜いて申請する場合は「税抜」、消費税を含めて申請する場合は「税込」に○を付け、その理由を示すこと。

（　税抜　・　税込　）

理由：消費税課税事業者ではないため

１２．その他

|  |
| --- |
| 活動計画における取組についての委託 |
| ・委託機関名 ○○森林組合  ・連絡先（電話番号等） ○○○○○－○－○○○○  ・委託時期 ２〇年２月（刈払い）  ・委託内容（委託する区域の林小班、委託業務の内容（面積、作業の内容）等）  急峻な○小班の刈払い作業  ・委託金額 ○○万円 |

※ 活動を作業委託する場合は、活動組織としての活動（作業の監督や林内の見回り等）を活動計画

の中で必ず明記すること。

（様式第13号）

番　　　号

年　月　日

北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会

会長　宮内　泰介　　殿

○○活動組織

代表　○○　○○　　印

平成○年度　森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る採択申請書

　森林・山村多面的機能発揮対策実施要領（平成25年５月16日25林整森第74号林野庁長官通知）別紙３の第５の４（１）に基づき、下記のとおり森林・山村多面的機能発揮対策交付金の採択を申請する。

記

１．活動組織名

霞の森保全の会　活動組織の名称を記載

２．協定の対象となる森林の位置　対象森林の地番を記載する。なお、対象森林は「山村多面的機能発揮対策実施要領」第２の１の森林を対象とするが、当該森林が当該事業実施に対して規制がない森林であることを確認する。

北海道○○市の「５林班い準林班、ろ準林班１、２、３小班、は準林班１、２、３小班、に準林班３、４小班」

３．担当者名・電話番号（連絡がとれる担当者及び電話番号、Fax、E-mail等を記載）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 所　在 | 〒〇〇〇-〇〇  北海道○○市霞〇丁目4-4 | | | 事務担当者氏名  山村　大作 |
| 連絡先 | 電話：〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 | Fax：〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 | E-mail：〇〇＠〇〇〇.〇〇.jp | |

４．森林・山村多面的機能発揮対策交付金

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 取組メニュー | 交付単価等 | 森林面積等 | 交付金総額 |
| 活動推進費 | 15万円 | 初年度のみ | 150,000円 |
| 地域環境保全タイプ（里山林保全） | 16万円/ha | 3.0ha | 480,000円 |
| 森林資源利用タイプ | 16万円/ha | 0.5ha | 80,000円 |
| 森林機能強化タイプ | 1千円/ｍ | ｍ | 円 |
| 教育・研修活動タイプ | 5万円/回 | 2回 | 100,000円 |
| 小　計 |  |  | 810,000円 |
| 資機材・施設の整備　計 |  | 1,900,000円 | 800,000円 |
|  | （1/2以内） | 1,000,000円 | 500,000円 |
|  | （1/3以内） | 900,000円 | 300,000円 |
| 計 |  |  | 1,610,000円 |
| 間伐等（除伐、枝打ちを含む。）の実施面積 |  | 1.0ha |  |
| 当該年度に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる森林を整備する面積 |  | 0.2ha |  |

（注1）面積は0.1ha単位で記入。教育・研修活動タイプの上限は12回。

（注２）当該年度に長期にわたり手入れをしなかったと考えられる森林を整備する面積は、活動期間内の前年度までに該当する森林の整備を実施した場合は、その森林の面積を除外し、当該年度に新たに森林の整備を実施する面積を記載すること。

５．事業費（活動推進費＋各タイプ計＋資機材・施設の整備（購入額））

150,000円+660,000円+1,900,000円＝2,710,000円

６．月別スケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組内容 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
| １．活動推進費 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  | 対象森林の調査、活動計画等作成 |  |  |  |  |  |  |  |
| ２．実践活動 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全） |  |  |  |  |  | 雑草木の刈払い |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | 雑草木の集積・処理 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| B 森林資源利用タイプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 作業委託（雑草木の刈払い・処理） |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 搬出・薪製作 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| C森林機能強化タイプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| D 教育・研修活動タイプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | 霞の森生き物観察会企画（資料作成・標識整備）・実施（1回目：○体験） |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | 霞の森生き物観察会企画（資料作成・標識整備）・実施（2回目：○体験） |  |  |  |  |
| ３．資機材・施設の整備 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  | 刈払い機購入（ 20万×5台） |  |  | 薪割機購入（90万×１台） |  |  |  |  |

７．教育・研修活動タイプの講師等（森林環境教育を実施する場合）

|  |  |
| --- | --- |
| 講師等の氏名 | 取得資格等 |
| 北海　太郎 | 森林インストラクター |
| 森林　次郎 | 霞高校教諭（霞市主催自然観察会講師） |

（注）取得資格等を有していない者を講師等とする場合、経歴等知識経験が判断できる事項を記載すること。

＜施行注意＞

　　活動計画書、協定及び活動組織の運営に関する規約等を添付するものとする。